

- 諸様相に関する総合的研究』鹿児島大学法文学部
- 町田勝則 2002 「所謂ロー状光沢とは何か」『弥生文化と石器使用痕研究』石器使用痕研究会
- 松山 聡 1992a 「石庖丁の使用痕」『大阪文化財研究』3
 1992b 「石庖丁の使用痕」『弥生時代の石器—その始まりと終わり—』第31回埋蔵文化財研究集会 埋蔵文化財研究会・関西世話人会
- 御堂島正 1989a 「『抉入打製石庖丁』の使用痕分析—南信州弥生時代における打製石器の機能—」『古代文化』41-6
 1989b 「有肩扇状石器の使用痕分析—南信州弥生時代における打製石器の機能—」『古代文化』41-3
 1991 「磨製石庖丁の使用痕分析—南信州弥生時代における打製石器の機能—」『古代文化』43-11
 1996 「鹿児島県加治木町干迫遺跡出土石器の使用痕分析」『鹿児島県立埋蔵文化財センター 発掘調査報告書(22)』鹿児島県埋蔵文化財センター
- 山村信榮 1993 「石庖丁の使用痕」『太宰府・佐野地区遺跡群Ⅲ 尾崎遺跡第1次調査』太宰府市教育委員会
 1998 「石庖丁の使用痕観察」『太宰府・佐野地区遺跡群Ⅷ前田遺跡第7次調査』太宰府市教育委員会
- Keeley,L,H, 1977 “The functions of paleolithic flint tools.”
 Scientific American 273-5